



# 通信 Oct.



さわやかで空が青く気持ちよく、学習しやすい季節になりました。この間に体に栄養、頭にはしっかり教養を取り入れましょう。

個個港学舎 舎長 八木貴子



## 学習状況のお知らせ



学年の後半に入ります。自習もあり教室も混み合いますので、席の予約、飲食などのルールを守りましょう。

持ち物、姿勢、授業態度も学習の一部です塾での学習を大切にしてください。また、夕方は急に冷え込みます。季節や天候に合わせて、服装を調節して来てください。



## いろはに偉人裏話「な」



「な」夏目漱石。本名は夏目金之助です。「漱石」の由来は、中国の言葉『枕石漱流』(世間から離れて、山奥で自由に暮らすことのとえ。)である人が間違えて、『漱石枕流』と言い、間違いを指摘されても訂正しなかったことから、『漱石枕流』は「負けず嫌い、頑固者、変わり者」の意味で使われています。金之助はこれを気に入り、「夏目漱石」にしたそうです。



漱石は前の千円札の肖像でした。紙幣の肖像の選択には、「日本国民が世界に誇れる人物」という基準があるようですが、漱石は文部省の命令で、英国に留学したことがあります。しかし、英語が流暢ではなく、現地でのじめにも会い、苦労しました。ついには宿に引きこもり、訪れた人が心配し、文部省に帰国させるよう働きかけました。そのためか「漱石発狂」と言う噂が文部省内に流れました。漱石もこの留学で「ロンドン嫌い」になりました。



漱石の作品には、順序の入れ替えや、当て字など言葉遊びが多くみられます。「**単簡**」(簡単)、「**笑談**」(冗談)、「**浪漫**」(ロマン)、「**沢山**」(たくさん)などです。

特に「**月並み**」は友人の正岡子規が毎月行う句会を「月並俳句」と呼んだことから、転じて「ありきたりで面白みに欠けるもの」と言う意味に定着しました。現在のワープロで変換可能な語句もあります。



ロンドンの住家

漱石が高校教師をしていた時、生徒が「I love you」を「我、君を愛す。」と訳したところ、漱石は「つまらん、日本人がそんなことを言うか、『月が綺麗ですね』とでもしておけ。」と言い放ったそうです。「月が綺麗」⇒「I love you」という意味の和歌があります。「月夜よし夜よしと人に告げやらば

来てふに似たり待たずしもあらず」



夏目漱石の句碑

(「綺麗な月の夜ですね」、「素敵な夜ですね」とあの人に伝言したら、「逢いに来てください」と言っているようなものだ。とは言え、あの人を待っていないわけでもないのだけれど。)**「浪漫」**チックですね

## 旬！カブのレシピ

カブは通年出荷されていますが、春物は柔らかく、秋物は寒さが増すほど甘味が強くなります。アブラナ科の一種で白菜、チンゲン菜、菜の花などの仲間です。日本では古くから親しまれてきた野菜で、各地に沢山の品種が栽培されてきました。呼び名も様々あり、「カブラ」「カブナ」や春の七草のひとつ「スズナ」もその一つです。根だけでなく、葉も美味しく、品種によっては主に葉を食べるものもあります。胃腸のはたらきを活発にする酵素が豊富で、葉にもビタミンなどの栄養素が多いです。



### 「カブの鶏そぼろあんかけ」

柔らかなカブと鶏肉のkokoroで、癒される一品です。寒いときに美味しいですね。

材料 カブ(葉つき):5,6個、鶏ひき肉:300g、出し汁:3カップ、酒:大2、しょうゆ:大4、砂糖:大3、片栗粉:大1

①カブは葉を取り、皮をむいて縦半分にする。葉は2,3個分の茎の根元を2cm捨てて葉を2cmに切る。②鍋にひき肉を入れ、酒を入れ菜箸でほぐす。出し汁を入れ、煮立ったらアクを取り、カブを入れる。蓋をして弱めの中火で15分煮る。③②に砂糖、しょうゆを加えて、蓋をして8~10分煮る。④カブを取り分けて、残った煮汁にカブの葉を加え、サッと煮る。⑤片栗粉を同量の水で溶いて加え、とろみをつけてカブにかける。



10月4日八木家メニュー

